外　国　語

「オーラル・コミュニケーションⅠ」	単　位　数	2　単　位
	学科・学年・学級	普通科　第３学年全クラス選択

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	日常的な話題について，英語を聞いたり話したりして，情報や考えなどを理解し伝える基礎的な能力を養うとともに，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 具体的言語活動は次の通り。 ア．英語を聞いて，情報や話し手の意向などを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 イ．自分の考えなどについて，話したり意見の交換をしたりする。
使用教科書・副教材等	Voice Oral Communication Ⅰ　NEW EDITION（第一学習社） 同教科書準拠ワークブック

2　学習計画及び評価方法等

(1)　学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考（学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など）	考査範囲
第１学期	「オーラル・コミュニケーションⅠ」学習について	4	・「オーラル・コミュニケーションⅠ」の学習の意義や内容，学習や評価の方法を理解します。「オーラル・コミュニケーションⅠ」への導入として、教室英語や会話の決り文句を学習します。	・声に出しての言語活動と、リスニングを基本とし、英語で話す、書く能力を身につけます。	第１学期　中間考査
	Lesson1 Nice to Meet You		・英語で自己紹介ができるよう、紹介・あいさつの表現を学びます。		
	Lesson 2 What Subject Do You Like the Best?	5	・好み，所属，頻度に関する基本的な英語表現を学びます。		
	Lesson 3 Are You Doing Anything This Sunday?	5 6	・予定をたずね，提案・勧誘をする場合の基本的な英語表現を学びます。		第１学期　期末考査
	Lesson 4 I'll Show You the Way	6 7	・道案内に関する英語表現を学ぶ。 ・相手に依頼する表現，またそれを承諾する表現を学びます。		
	【課題・提出物等】 1 授業の中で、プリントを使用します。 2 各レッスンで指示されたプリントなどを提出してください。				
	【第１学期の評価方法】 ・定期テスト、授業活動、課題提出（プリント）の３つを中心に、総合的に評価します。				

2学期	Lesson 5 On the Telephone	9	・電話をかける際に用いられる英語表現を学びます。 ・内容を相手に正確に伝えたり，相手の伝える情報を正確に聞きとり応答できるようにします。	言語活動と、リスニングを基本とし、英語で話す、書く能力を身につけます。	第2学期 中間考査
	Lesson 6 At a Restaurant	10	・外食する際によく使われる英語表現を学ぶ。 ・具体的にはレストランで食べ物や飲み物を文するときの給仕とのやりとりや，ファーストフード店でのよりカジュアルな表現を学習します。		
	Lesson 7 At a Department Store		買い物をする際によく使われる英語表現を学びます。 ・商品の絵や値段を見て，買い物をする練習を行います。		第2学期 期末考査
	Lesson 8 What's “Miso” Soup?	11	英語で相手の感想をきく際に用いられる英語表現を学びます。 ・英語で日本の事物や年中行事などの文化を説明します。		
	Lesson 9 What's the Matter?	12	・体調についてきいたり答えたりする場合の基本的な英語表現を学びます。 ・相手がおかれている状況に応じて同情したり，助言したりする英語表現を学びます。		
	【課題・提出物等】 1 授業の中でプリントを使用します。 2 各レッスンで指示されたプリントなどを提出してください。				
	【第２学期の評価方法】 ・定期テスト、授業活動、課題提出（プリント）の３つを中心に、総合的に評価します。				
第3学期	Lesson 10 Talking about the Future	1	・自分自身の将来の夢について考えます。 ・さまざまな職業を表す英語表現を学びます。 ・希望を述べる英語表現を学びます。 ・面接やコマーシャルの英語表現を学びます。	・声に出しての言語活動と、リスニングを基本とし、英語で話す、書く能力を身につけます。	学年末考査
	【課題・提出物等】 1 授業の中でプリントを使用します。 2 各レッスンで指示されたプリントなどを提出してください。				
	【第３学期の評価方法】 ・定期テスト、授業活動、課題提出（プリント）の３つを中心に、総合的に評価します。				

【年間の学習状況の評価方法】
次の⑵評価の観点、内容及び、評価方法の４つの観点から評価した１学期の成績、２学期の成績及び３学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・聞くこと及び話すことの音声を中心としたコミュニケーション活動を行う際には，リズムやイントネーションなどに注意しながら、発音することが大切です。 ・文型や文法事項はそのものを覚えることが目的ではなく、実際にコミュニケーションを行うときの意味や意図を考えた上で、実際に使うことが大切です。 ・繰り返しを求めたり、言い換えたりするときなどに必要となる表現を覚えて、コミュニケーション活動に積極的に取り組むことが大切です。 ・ジェスチャーなどの文化的な違いが、言語の違い以上に大きな意味をもつことがあります。文化的な違いに配慮しながら、ジェスチャーなどを恥ずかしがらずに活用できるように努めることが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・予習、復習を必ず行い、授業当日に覚えるべきことを覚えてください。 ・欠席した場合は、その分のノートを級友から借りて写させてもらうことやどんな言語活動を行ったか聞いておくことが大切です。

(2)　評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評　価　方　法
関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心をもち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・プリント及びレポート
表　現　の　能　力	・日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現しているか。	・授業の中で使用するプリント ・発表の内容や仕方
理　解　の　能　力	・日常生活の身近な話題について、比較的平易な英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているか。	・レポート ・授業の中で使用するプリント ・発表の内容や仕方
知　識　・　理　解	・日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。	・定期考査中心とする

3　担当者からのメッセージ

・１年間の学習の中で、次の４つのコミュニケーション活動を通して、実践的なコミュニケーション能力を身に付けることを目指します。
(1)「聞くこと」・・・・・・・・英語を聞いてその内容を理解するとともに、場面や目的に応じて適切に反応できるようになることです。
(2)「対話をすること」・・・・・関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりできるようになることです。
(3)「話すこと」・・・・・・・・情報や考えなどを、場面や目的に応じて適切に伝えられるようになることです。
(4)「口頭で発表すること」・・・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表でききるようになることです。また、発表されたものを理解できるようになることです。
・言語活動を含め、、様々な形態の学習活動を行います。そして、生徒の皆さんの発表などを通して、活発な授業を行います。間違いを恐れずに積極的に授業に参加してください。
・教科書の英文については、運用できるレベルまで繰り返し練習を行います。
・分からないことがあれば遠慮なく聞いてください。ただし、調べることは大切な学習活動ですので、自分で調べれば分かるようなことは、極力自分で調べてください。
・調べ方が分からない場合は、調べ方を教えたり、調べる手助けをします。